

11 海東諸国紀かいとうしよこくき

S 貴二三・二。一冊。縦三二・六cm、横二一・二cm。

朝鮮・申叔舟シンスグヰ編。朝鮮活字版。成化七（成宗二・一四七二）年序。朝鮮成宗二年に王命により申叔舟（一四一七〜七五）が編纂した、海東諸国（日本国・琉球国）の歴史・地理・風俗・言語や朝鮮との通交について記した書。地図・日本国紀・琉球国紀・朝聘ちへい応接紀・附録からなる。海東諸国の地図や、琉球語をハングルにお

きかえた語音翻訳などを収める。日本の風俗について、食事に漆器と箸を使うことや、お歯黒の風習を記す。史料編纂所本は、一六世紀初頭の古版本。掲載した琉球国図は、一五世紀中葉の時期の様子を伝える。肥前の松浦を通る朝鮮との航路などが記され、奄美諸島や慶良間諸島なども描かれる。琉球本島の中心の円形の城郭「琉球国都」が首里城しゅりじょう。（参考）田中健夫訳注『海東諸国紀』（岩波書店、一九九一）。



琉球国之図